

平成31年度・令和元年度 事業報告書

共同生活援助

風 s u n ホーム

目 次

1. 利用者の状況	2
2. 日中活動	3
3. 地域活動	4
4. 職員の配置状況	5
5. 職員研修	5
6. 見学の受け入れ	7
7. 外出	7
8. 保健衛生	8
9. 避難訓練	9
10. 苦情相談	9
11. 事業計画等に対する評価	10

平成31年度・令和元年度 事業報告

平成17年度より開設した「風sunホーム」は、介護サービス包括型の共同生活援助事業所として、全6棟27名の利用者へのサービス提供を継続した。

各ホームでの月例の世話人会議において、サービス等利用計画に基づく個別支援計画を検討して、利用者一人ひとりの想いに寄り添う支援の提供に心がけた。また、相談支援事業者の開催するモニタリング会議に参加して関係事業所および行政機関との連携を図りながら情報を共有することで、利用者の安定した生活に寄与することができた。今後もバックアップする松風の里との連携を強みとして、安全安心な生活を保障していく。

地域活動では、利用者の社会貢献に配慮し、柏崎市のクリーンデーや各種イベント等への参加に努めた。余暇活動においては、利用者の希望に沿った買い物や散歩、カラオケ、コンサート鑑賞等に関して個人や小グループでの外出の機会を提供した。日帰り外出についても、ホームごとに買い物や外食、温泉保養等を実施することができた。盆・正月にも、外出等の機会を提供して気分転換を図ることができた。

また、ホームで取り組んできた作品を柏崎市社会福祉協議会における「わいわいがやがやフェスティバル」の「ミニアールブリュット展」に展示する機会を得たことは、利用者の表現する喜びや創作意欲の向上に繋がっている。

保健衛生面では、利用者の重度加齢化に伴う心身の変化が進んでおり、各種検診や通院を支援した。健康状態を維持するための食事や運動面でのサポートについて、支援者間で共通の認識をもつように努めた。柏崎市健康推進課より保健師・栄養士を講師として招聘して、2つのホームで「健康保健教室」を開講した。歯磨き支援の定着から、数名が歯科医院への通院を開始することができた。各ホームに、アルコール消毒、ペーパータオルを設置して感染症対策を推進している。

防災対策として、災害時避難マニュアルを更新して作成した利用者の「緊急時持ち出しケース票」を各ホームに設置した。消防法による防火安全体制を構築するため、各ホームにおいて年2回以上の避難訓練を計画して、内1回は実際に世話人が退勤した後の夜間帯に実施した。地震を想定した避難においては、防災頭巾を装着する訓練を導入した。水害において避難区域に指定されているホームについては、大雨による避難勧告指示の設定のもと避難場所の見直しを行い、訓練を実施することができた。柏崎市による「災害時避難行動要支援者名簿」へ全利用者の登録の更新を完了している。

世話人の資質向上にむけて、アンケート調査を実施して管理者との面談をもちながら契約更新に繋げている。利用者の人権擁護に資する「障害者虐待防止法」および「障害者差別解消法」については、「ホーム職員行動規範自己評価票」を作成して、世話人会議を活用して反映した。外部講師を招聘した「世話人研修会」を開催するとともに、法人内や施設内外の研修会に世話人が参加することができた。世話人がパートタイム職員となったことから、これまで以上に職種を超えた連携が望まれる。

老朽化するホームについては、必要に応じて修繕に努めた。ホーム内が安全に安心して暮らせるように、整理整頓して衛生面に配慮した。

2月以降の「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大の懸念から、柏崎市刈羽村管内において、罹患者が発生した場合を想定する利用者の支援態勢を確認し始めている。

以下、平成31年度・令和元年度の事業を報告する。

1. 利用者の状況

(令和 2年 3月31日 現在)

(1) 出身市町村別人数

利用者	市町村	柏崎市	刈羽村	計
男性		12		12名
女性		14	1	15名
計		26	1	27名

(2) 年齢別人数および平均年齢

利用者	年齢	~19	20 ~24	25 ~29	30 ~34	35 ~39	40 ~44	45 ~49	50 ~54	55 ~59	60 ~64	65~	計
男性						1	2	1	2	1		5	12名
女性				3		2		4	3	1		2	15名
計				3		3	2	5	5	2		7	27名
利用者	年齢	最高年齢		最少年齢		平均年齢		全体平均年齢					
男性		69歳		39歳		55歳		50歳					
女性		73歳		25歳		46歳							

(3) 知的障害の障害支援区分別人数

[平均区分 3.11]

利用者	区分	1	2	3	4	5	6	計
男性		2	2	3	5			12名
女性		1	2	5	6	1		15名
計		3	4	8	11	1		27名

(4) 身体障害の症状別重複者

利用者	症状	聴覚	言語	肢体不自由			計
				上肢	下肢	体幹	
男性				1			1名
女性							
計				1			1名

(5) てんかんおよび精神障害の症状別重複者

利用者	症状	てんかん	統合失調症	精神症状	計
男性		3	1	1	5名
女性		3	1	4	8名
計		6	2	5	13名

2. 日中活動

全スタッフが、日中活動先の事業所と連携し、利用者の地域における生活を支援した。

	名称 (住所)	開設年 月	利用者の状況				援護の 実施者
			利用者	性別	年齢	就労等おもな日中活動の場	
◇	風sun ホーム (松波)	平成 17年 4月	あ	女	49	たいようSOCIOセンター	柏崎市
			い	女	47	喫茶めぐ・元気館障害者デイサービスセンター	柏崎市
			う	女	38	喫茶めぐ・にしやまの里	刈羽村
			え	女	36	かしわハンズ	柏崎市
			お	女	28	たいようSOCIOセンター・松風の里	柏崎市
◇	なぎさ ホーム (松波)	平成 18年 4月	か	男	69	にしやまの里	柏崎市
			き	男	68	にしやまの里・しおかぜ荘・松波の里	柏崎市
			く	男	67	にしやまの里	柏崎市
			け	男	57	にしやまの里・柏崎市身障者福祉作業所・松風の里	柏崎市
◇	風の丘 ホーム (藤元町)	平成 18年 10月	こ	女	73	こすもす作業所	柏崎市
			さ	女	51	にしやまの里・元気館障害者デイサービスセンター・松風の里	柏崎市
			し	女	45	にしやまの里・松風の里	柏崎市
			す	女	28	喫茶めぐ	柏崎市
			せ	女	25	原信柏崎東店・さざなみ学園	柏崎市
◇	あらはま ホーム (荒浜)	平成 24年 4月	そ	女	68	にしやまの里・松風の里・アットホーム	柏崎市
			た	女	57	たいようSOCIOセンター	柏崎市
			ち	女	51	たいようSOCIOセンター	柏崎市
			つ	女	51	こすもす作業所	柏崎市
			て	女	47	たいようSOCIOセンター	柏崎市
◇	なかはま ホーム (中浜)	平成 25年 4月	と	男	67	かしわハンズ	柏崎市
			な	男	66	大日商会・柏崎市身障者福祉作業所	柏崎市
			に	男	53	たいようSOCIOセンター・アトリエぼっけ	柏崎市
			ぬ	男	52	かしわハンズ	柏崎市
			ね	男	42	たいようSOCIOセンター	柏崎市
◇	やまもと ホーム (山本)	平成 28年 4月	の	男	45	にしやまの里・松風の里	柏崎市
			は	男	42	たいようSOCIOセンター・にしやまの里	柏崎市
			ひ	男	39	たいようSOCIOセンター	柏崎市

3. 地域活動

利用者が、地域のイベントやクリーン活動に参加した。

(1) イベント

ホーム	月 日	イ ベ ント	参 加 者	
			利用者	職 員
風sun	9. 22	松波町内大運動会	2	1
	10. 13	ハッピーハロウィーン in まつなみ	台風襲来のため翌日順延で不参加	
なぎさ	9. 22	松波町内大運動会	4	1
	10. 13	ハッピーハロウィーン in まつなみ	台風襲来のため翌日順延で不参加	
あらはま	4～2月の 月2回の 金曜日	くらしのサポートセンター 「アットホーム」	21	(送迎付き)
計			27名	2名

(2) クリーン活動

ホーム	月 日	活 動 場 所	参 加 者		
			利用者	世話人	職 員
風sun	6. 2	松波四丁目四区	2		1
	8. 4		2		1
	9. 8	柏崎中央海岸 (柏崎市手をつなぐ育成会イベント)	1		1
なぎさ	6. 2	松波四丁目一区	4		1
	8. 4		4		1
	10. 6		4		1
なかはま	6. 1	大洲四区甲	2	1	
	9. 8	柏崎中央海岸 (柏崎市手をつなぐ育成会イベント)	2		1
計			21名	1名	7名

4. 職員の配置状況

共同生活援助に係る職員を、以下の人員で配置した。

職 種		員 数	備 考
管 理 者	(松風の里 園長 兼務)	1	社会福祉士
サービス管理責任者	(松風の里 地域課長 兼務)	1	介護福祉士
	(松風の里 支援員 兼務)	1	
パート世話人	日 勤	18	
	夜 勤 【風の丘ホーム、やまもとホーム】	6	
支 援 員	(松風の里 支援員 兼務)	3	
事 務 員	(松風の里 庶務課長 兼務)	1	
計		31名	

5. 職員研修

(1) 職場内研修

職場内における新任教育、意見交換、スキルアップ等に寄与する各種研修を実施した。

年 月 日	内 容	参 加 者
元. 12. 5	世話人新任研修 「障害の理解・業務の心構え・共同生活援助の歴史」	新任パート世話人 2名
12. 12	世話人研修会 「口腔ケアで元気な体づくり」 ① 講演「口腔ケアの必要性」 講師；まつなみ歯科医院 院長 高野 清 様 ② 実技「歯磨きのポイント」 講師；新潟県歯科衛生士会 柏崎ブロック長 柏崎市歯科医師会在宅歯科医療連携室 登録歯科衛生士 船岡 陽子 様	パート世話人 22名 職員 3名
2. 1. 10 ～ 2. 4	契約更新に係る面談	パート世話人 23名
計	3回	パート世話人 48名 職員 3名

(2) 職場外研修

職場外における関係機関の研修に、積極的に参加した。

年 月 日	内 容	参 加 者
元. 6. 28	新潟県知的障害者福祉協会 第19回グループホーム世話人研修会 ＜ホテルセンチュリーイカヤ＞	パート世話人 3名 職員 1名
8. 29 ～ 30	日本知的障害者福祉協会 全国グループホーム等研修会 in 千葉 ＜アパホテル&リゾート東京ベイ幕張＞	職員 1名
10. 24 ～ 25	新潟県福祉サービス運営適正化委員会 苦情解決責任者等のための苦情解決研修 ＜新潟ユニゾンプラザ＞	職員 1名
11. 27	柏崎地区交通安全協会 第4回安全運転講習会 ＜柏崎地区交通センター＞	パート世話人 1名
計	4回	パート世話人 4名 職員 3名

(3) サービス担当者会議

相談支援事業者が作成した、利用者一人ひとりの「サービス等利用計画」における「モニタリング会議」に参加し、各事業所間の連携をはかり、世話人へも周知して利用者の支援にあたった。

事業所 (利用者)	月													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ふくし・ぱとなー (12名)	3	3	3	4	2	4	7	2	1	3	2	2	36	
茨内地域生活支援センター (3名)	2			1	1		1			1	2		8	
元請障害者サービスセンター (7名)	2		1		1	1	1		2		1	1	10	
おうぎまち (3名)	1	2					2	1					6	
ふらぼーと秋桜 (2名)	1					1	1						3	
松風の里 (3名)		2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	14	
計 (回)	9	7	5	6	6	8	13	4	4	5	6	4	77	

6. 見学の受け入れ

圏域のニーズに応え、見学希望者の受け入れに努めた。

月 日	ホーム	見 学 者	人 数
9. 9	やまもと なかはま	はまなす特別支援学校 高等部2年男子	11+教員4
	風sun あらはま	はまなす特別支援学校 高等部2年女子	7+教員2
11. 18	風の丘	新潟県立新潟盲学校 高等部普通科1年	1+教員2+保護者1
計		2回	19+教員8+保護者1名

7. 外 出

各ホームにおいて、利用者の希望に応える日帰り外出を実施した。

月 日	ホーム	外 出 先	参 加 者	
			利用者	職 員
6. 28	なかはま	鉄道博物館（見学） 秋葉温泉「花水」（会食・入湯）	5	2
7. 17	あらはま	新潟県立植物園（観賞） 夢庵（ランチ） 白根温泉「関根旅館」（入湯） 田沢農園（ジェラート）	5	2
9. 25	風の丘	ゆず庵（ランチ） 新潟県民会館「梅沢富美男劇団特別公演」 “アッ！とおどろく夢芝居”（観劇）	5	2
10. 8	なぎさ	上越市立水族博物館「うみがたり」（観賞） 鶺鴒の浜温泉「ロイヤルホテル小林」（会食・入湯）	4	2
10. 29	やまもと	清津峡（散策） 越後妻有交流館キナーレ「明石の湯」（会食・入湯）	3	2
11. 13	風sun	弥彦紅葉谷（散策） 弥彦神社（菊祭り） 弥彦温泉「みのや」（会食・入湯）	5	2
計		6回	27名	12名

8. 保健衛生

(1) 通院

職員の同行の下、利用者の医療機関への受診を支援した。

※ 【健】… 健康診断 【内】… 内科 【精】… 精神科・脳神経内科・心身医療科
 【外】… 外科 【整】… 整形外科 【歯】… 歯科 【眼】… 眼科
 【皮】… 皮膚科 【泌】… 泌尿器科 【婦】… 婦人科

ホーム		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
風sun	健		1	1	2										4
	内				1			1		2				2	6
	精						1				1				2
	整													1	1
	歯							1						1	2
	皮		1	1											2
なぎさ	健		5	3	1										9
	内			2	1			1	1	2		1	3	1	12
	精		2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	26
	歯		4	2								1	1		8
	泌					1									1
	皮											2			2
風の丘	健			2		1	3					1			7
	内		1	1		1	1	1	2	2	1	3	1	1	15
	精		1	1		2	2		2	1	1	1	1		12
	歯					1	2	4	4	4	3	1	3	1	23
	眼						1								1
	皮								1						1
あらはま	健		1		1										2
	内				1			1	3	1			1	1	8
	精			1		1	2	2	2	1	2	1	2	1	15
	外		2				2				2				6
	整													1	1
	歯				1				3	1					5
	眼		1		1		1			1			1		5
	婦							2						2	
なかはま	健					2									2
	内				1	1	2	1	2		1	1			9
	歯					1	2	2	1	1		1	1	1	10
	皮		1	1	2		2	1	2	1	3	1	1	2	17
やまもと	健		1			1									2
	内						1	2							3
	精		1	1	1	1	1	1	2	1	1	1		1	12
	整											1			1
	歯									2	1	1	2	2	8
計(回)			22	18	15	17	25	20	28	23	18	19	19	18	242

(2) 入院

本年度、入院加療する利用者はなかった。

(3) 健康保健教室

柏崎市元気支援課より保健師・栄養士を招聘して、2つのホームで「健康保健教室」を開講した。

ホーム	月 日	内 容	参 加 者			
			利用者	保護者	世話人	職 員
なぎさ	11. 11	生活習慣や栄養 摂取に係る講話	4		1	2
風の丘	11. 20		5	1	3	2
計		2回	9名	1名	4名	4名

9. 避難訓練

各ホームにおいて、各種想定の下、計画的に年2回の避難訓練を実施した。

ホーム	月 日	想 定 状 況				備考
		時間帯	火災発生場所	地震の有無	世話人の有無	
風sun	5. 14	夕食前	台所	有	有	
	11. 21	夜間	台所	無	無	
なぎさ	5. 24	夜間	台所	無	無	
	11. 18	荒 天 に よ り 中 止				
風の丘	6. 27	夕食前	台所	有	有	
	9. 2	夕食前	【豪雨想定】	無	有	水害警戒区域
	11. 25	夜間	台所	無	有	
あらはま	4. 25	夕食前	台所	有	有	
	9. 19	夜間	台所	無	無	
なかはま	10. 18	荒 天 に よ り 中 止				
	12. 3	夜間	台所	無	無	
やまもと	5. 21	夜間	台所	無	有	
	9. 20	荒 天 に よ り 中 止				

10. 苦情相談

法人が定める「社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニーの提供する福祉サービスにかかる苦情解決体制整備等に関する規程」により、苦情解決の責任体制を明らかにして、苦情を申し出やすい環境を整備した。苦情受付の有無とともに、苦情解決の経過については、事業報告および広報「かがやき」を通じて公表した。

本年度の苦情受付はなかった。今後も利用者・保護者からの相談に傾聴し、真摯に対応する。

1 1 . 事業計画等に対する評価

(1) 健康面への対応

加齢に伴う疾病や体調の急変等、通院の頻度が年々増加している。定期検診から健康状態を把握し、今後もかかりつけ医との連携が必要である。本年度、入院加療する利用者はなかった。

また、突発的な体調不良等で受診が必要になった場合の同行する職員の確保も課題であり、グループホームスタッフの人員体制についても検討する。

本年度、ひとつのホームにおいて、インフルエンザA型の罹患者が2名発生した。受診後、ホーム内で療養することで拡大を防ぐことができた。感染症マニュアルを確認し合い、拡散を予防した。夜間の体調不良者については、職員がホームに宿泊して状態を観察した。現状で宿直支援のない4つのホームにおいては、漸進的に夜間支援を検討する。

(2) 環境の整備と安全な暮らしへの配慮

利用者が、快適な生活を送れるようにホーム内外の環境を整備した。利用者の身体状況に合わせて、階段や浴室・トイレの手すり等ハード面を整備する。

また、次期契約更新を見据えて、利用者の状態の変化に合った生活環境の調整を検討する。なぎさホームの転居については、前年度に引き続き、申請事務に沿って計画を進める。

近年増加する自然災害に対応することができるように、避難訓練において夜間の訓練を継続するとともに、世話人や支援員の防災意識を高める。

(3) 日中活動先への送迎

12月から2月までの冬季間、送迎サービスを提供していない日中活動先へ送迎を開始した。荒天時の通所への心配の解消は、保護者にとっても積年の願いであり、大変喜ばれている。

(4) 余暇の支援

利用者の希望する外出について、単独もしくは移動支援サービスや支援員同行の形態で外出する機会を提供することができた。今後も、利用者の自信に繋がるような体験を積み重ねる。

また、ホームで文字を書いたり、絵を描いたりすることが習慣になっている利用者の情操開発のお手伝いとして、楽しみながら表現する時間を持ち、作品づくりに繋がるような支援を継続する。

(5) 世話人のスキルアップに向けた連携

各ホームにおける月例の世話人会議で、個別支援計画を中心に日頃の支援を振り返り、利用者の現状を把握するとともに、より良い生活を送ることができるための検討を深めた。

世話人や職員のスキルアップを図るため、世話人会議や施設内外の研修を活用した。支援員の各ホームへの定期訪問や情報交換から、引き続き世話人との連携を強化する。

(6) 保護者および関係機関との協調

保護者および日中活動先、相談員等との情報を共有して、協力し合うことができた。今後も利用者が主体的に暮らしていけるように、近隣や地域との連携を大切にする。